

平成30年度（平成29年度対象）

# 京丹波町教育委員会 点検・評価報告書

平成30年11月

京丹波町教育委員会



## 1 はじめに

平成20年4月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正がなされ、効果的な教育行政の推進と住民への説明責任を果たしていくために、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、自己点検及び評価を行い、その結果を議会に報告するとともに、公表することが義務づけられた。

本教育委員会では、この法律に基づき平成20年度（平成19年度対象）から、教育委員会の施策・事業の点検・評価を実施しており、今年度で11度目の点検・評価となる。地方における教育行政の中心的担い手としての役割発揮に向けて、教育委員会事業の更なる改善・改革を進める努力を重ねていきたい。

## 2 教育委員会議の開催状況

教育委員会議については、原則として毎月1回「教育委員会定例会」を、また必要に応じて「臨時会」を開催し、平成29年度は合計14回開催した。

- (1) 教育委員会定例会・・・12回
- (2) 教育委員会臨時会・・・2回

## 3 教育委員会議での審議状況

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第23条に定める職務について、同法第26条及び「京丹波町教育委員会教育長事務委任規則」の規定に基づき、平成29年度は合計で18件について審議した。

- (1) 教育委員会規則等の制定及び改廃・・・・・・・・・・・・・・ 11件
- (2) 職員（教職員を含む）の人事に関する事・・・・・・・・・・・・ 1件
- (3) 法令又は条例に定めのある附属機関の委員の委嘱・・・・・・・・ 2件
- (4) その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4件

### ○ 平成29年度 教育委員会審議案件等一覧

議案番号	件名	議決日
第1号	京丹波町立幼稚園利用料等徴収条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	H29.4.5
第2号	京丹波町就学援助に関する規則取扱規程の一部を改定する規程の制定について	H29.6.8
第3号	京丹波町育英資金評議員会委員の委嘱について	H29.7.7
第4号	平成29年度京丹波町育英生の決定について	H29.8.17
第5号	京丹波町私立幼稚園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する要綱について	H29.8.17
第6号	京丹波町教育委員会外部評価委員の選任について	H29.8.17
第7号	京丹波町就学援助に関する規則	H29.11.17
第8号	京丹波町就学援助に関する規則取扱規程	H29.11.17
第9号	平成29年度（平成28年度対象）京丹波町教育委員会点検・評価報告書	H29.11.17

第10号	京丹波町立小学校及び中学校の勤務する府費負担教職員の育児休業等取扱要領の一部を改正する要領の制定について	H30. 1. 12
第11号	平成29年度京丹波町文化賞被表彰者の決定について	H30. 2. 9
第12号	京丹波町立小・中学校校長及び教頭の人事異動について	H30. 2. 26
第13号	京丹波町特別支援教育就学奨励費に関する要綱の制定について	H30. 3. 20
第14号	京丹波町立須知幼稚園園則の一部を改正する規則の制定について	H30. 3. 20
第15号	京丹波町立学校・幼稚園の学校(園)医、学校(園)歯科医及び学校(園)薬剤師の委嘱について	H30. 3. 20
第16号	京丹波町教育委員会ホームページ設置要綱の廃止について	H30. 3. 20
第17号	京丹波町立中学校自転車通学に関する支援事業実施要綱の制定について	H30. 3. 20
第18号	京丹波町招致外国青年就業規則の一部を改正する規則の制定について	H30. 3. 20

○ 平成29年度 教育委員会議 主な報告等事項

番号	件名	報告日
1	平成29年度第1回京丹波町議会定例会について	H29. 4. 5
2	平成29年度幼・小・中学校職員体制及び学級編成について	H29. 4. 5
3	平成29年度京丹波町教育委員会事務局体制について	H29. 4. 5
4	平成29年度京丹波町教育の指針について	H29. 4. 5
5	社会教育、社会体育行事等予定について	H29. 4. 5
6	平成28年度京丹波町教育委員会点検、評価報告書について	H29. 5. 9
7	平成28年度教育委員会後援名義使用承認状況について	H29. 5. 9
8	ニュージーランド派遣生募集について	H29. 5. 9
9	平成29年度学校(園)等行事予定	H29. 5. 9
10	教育振興室関係報告	H29. 5. 9
11	社会教育関係団体について	H29. 5. 9
12	社会教育課5月の行事予定等について	H29. 5. 9
13	学校訪問について	H29. 6. 8
14	平成29年度ニュージーランド派遣生の決定について	H29. 6. 8
15	要保護及び準要保護就学援助制度認定状況について	H29. 6. 8
16	平成29年度京丹波町育英生の応募状況について	H29. 6. 8
17	教育振興室関係報告	H29. 6. 8
18	社会教育課6月の行事予定等について	H29. 6. 8
19	平成29年度第2回京丹波町議会定例会について	H29. 7. 7
20	京丹波町招致外国青年の任用について	H29. 7. 7
21	京丹波町ホストタウン構想について	H29. 7. 7
22	京都トレーニングセンターとの連携事業について	H29. 7. 7
23	京のまなび教育推進事業について	H29. 7. 7
24	社会教育関係団体の総会について	H29. 7. 7
25	社会教育課7月、8月の行事予定について	H29. 7. 7
26	社会教育課8月の行事予定について	H29. 8. 17

27	平成29年度第3回京丹波町議会について	H29.9.13
28	社会教育課9月、10月の行事予定について	H29.10.3
29	社会教育課11月、12月の行事予定について	H29.11.17
30	瑞穂給食センターの給食停止について	H29.12.20
31	社会教育課1月行事予定について	H29.12.20
32	平成29年度第4回京丹波町議会について	H30.1.12
31	学校教育課関係報告	H30.1.12
32	社会教育課1月、2月の行事予定について	H30.1.12
33	京丹波町いじめ問題対策連絡協議会の報告について	H30.2.9
34	社会教育課2月、3月の行事予定について	H30.2.9
35	平成29年度京丹波町スポーツ賞について	H30.2.9
36	平成30年度第1回京丹波町議会定例会について	H30.3.20
37	社会教育課関係報告	H30.3.20
38	教育振興室関係報告	H30.3.20

#### 4 教育委員会活動の概要

##### (1) 学校訪問

実施日	平成29年 7月7日(金)	須知幼稚園、瑞穂小学校、蒲生野中学校
	10月3日(水)	下山小学校、和知小学校、丹波ひかり小学校
	11月17日(金)	竹野小学校、瑞穂中学校、和知中学校
参加者	教育委員・教育長6人、事務局1人	
訪問先	幼稚園、小学校、中学校	
取組概要	① 管理職から学校運営課題のヒアリング ② 学校施設の状況把握 ③ 授業、行事参観 ④ 給食の試食	

#### 5 教育委員会に関わるその他の活動（教育委員が出席した活動等）

月	各種行事・大会等	
	京丹波町関係	国・府関係（開催場所）
4月	幼稚園入園式、保育所入園式 小・中学校入学式	
5月	総合教育会議（5/16）	南丹教育委員会連絡協議会総会・研修会 （5/16 南丹市） 南丹地区教科用図書採択協議会第1回採択協議会（5/16 南丹市） 京都府市町村教育委員会連合会定期総会・委員研修会（5/26 京都市）
6月	第2回町議会定例会（6/2～6/19） 町長と語るつどい	

7月	町長と語るつどい	
8月	町長と語るつどい	南丹地区教科用図書採択協議会第2回採択協議会(8/7 南丹市)
9月	第3回町議会定例会(9/1~9/25) 幼稚園、小学校運動会、中学校体育祭	
10月	地区体育大会	近畿市町村教育委員研修大会 (10/24 和歌山県紀の川市)
11月		京都府内市町(組合)教育委員研修会 (11/2 京都市) 南丹教育委員会連絡協議会研修会 (11/24 岐阜県岐阜市)
12月	第4回町議会定例会(12/7~12/22)	
1月	新春互礼会	
2月	総合教育会議(2/21) 第1回町議会定例会(3/2~3/23)	
3月	須知高等学校卒業証書授与式 幼稚園卒園式、保育所卒園式 小・中学校卒業証書授与式	

## 6 教育委員の構成

区分	氏名	住所	委員任期
教育長	松本 和久	蒲 生	平成27年12月12日~平成30年12月11日
教育長職務代理者	藤田 道子	西河内	平成29年12月12日~平成33年12月11日 (代理者任命 平成29年12月12日~)
委員	竹吉 美公	下 山	平成26年12月12日~平成30年12月11日
委員	上田 明成	妙楽寺	平成28年12月12日~平成32年12月11日
委員	竹内 裕子	上乙見	平成28年12月12日~平成32年12月11日
委員	津田 勝二	橋 爪	平成29年12月12日~平成33年12月11日
以下、平成29年度中に退任した教育委員			
委員	櫻井 博規	三ノ宮	平成25年12月12日~平成29年12月11日 (代理者任命 平成28年12月11日~平成29年12月11日)

## 7 具体的な推進施策の取組み状況評価

### (1) 点検・評価の対象

平成29年度に実施した施策・事業を次の項目別に区分し、点検・評価の対象とした。

I 学校教育	
1 学校運営	(1) 特色ある学校づくり
	(2) 教職員研修の充実
	(3) 健康・安全の推進
	(4) 学校管理（危機管理を含む）の向上
2 学力充実・個性伸長	(1) 学習指導の徹底
	(2) 進路指導の充実と就学機会の保障
	(3) 特別支援教育の充実
	(4) 幼稚園教育の推進
	(5) 認定こども園の開設準備
3 人間性を育む教育	(1) 道徳教育の充実
	(2) 人権教育の充実
	(3) 生徒指導の推進
	(4) 文化・スポーツの推進
4 社会の変化に対応する教育	(1) 国際理解教育の充実
	(2) 環境教育の推進
	(3) 情報教育の推進
	(4) 土曜日を活用した教育の研究
	(5) 少子化等の課題に対応した教育の研究
5 教育環境の整備	(1) 学校施設の整備促進
	(2) 学校給食の運営
II 生涯学習	
1 生涯学習・社会教育の振興	(1) 社会教育委員活動の充実
	(2) 生涯学習の推進
	(3) 社会教育団体等の育成
	(4) 図書活動の充実
2 文化の振興と文化財保護	(1) 文化の振興
	(2) 文化財の保護
3 青少年健全育成	(1) 育成事業の推進・団体活動支援
	(2) 放課後児童対策の充実
	(3) 学校支援対策の推進
4 競技・生涯スポーツ	(1) スポーツ・レクリエーション活動の推進
	(2) スポーツ施設の活用と整備

### (2) 点検・評価の方法

点検・評価にあたっては、京丹波町教育振興基本計画に基づき、施策・事業の内容と実績を明らかにするとともに成果と課題等を表示した。

また、点検・評価にあたっては教育に関して学識経験を有する方（外部評価委員）に助言を得た。

京丹波町教育委員会外部評価委員（平成 29 年 8 月 18 日 ～ 平成 31 年 8 月 17 日）

湊 友三郎	元小学校長、学校運営協議会会長
由良 賀代子	元小学校長、民生委員・児童委員
野間 眞知子	元京丹波町国際交流協会副会長

### （3）点検・評価結果の内容

（ア）事業内容・実績・対象者等：主に取り組んだ事業内容、実績及び対象者等を示している。

成果・課題等：事業の実施に伴い、効果が得られた内容、成果及び課題を示している。表中、○は成果等を、●は課題等を表している。

（イ）内部評価：計画目標に対し、外部評価委員の意見を踏まえて4段階評価を行った。評価判断基準は次のとおりとしている。A（計画どおり又は計画以上の成果を得た）、B（課題は残しながらも概ね目標は達成できた）、C（課題を残し目標も達成できなかった）、D（成果がほとんど上がっておらず見直しが必要である）

（ウ）外部評価委員会会議において、委員から出された総括的な意見は次のとおり。

- ・学校教育、生涯学習ともに新規の取り組みが多く、積極的な活動が展開されていることを確認した。
- ・「京丹波町メソッド」に基づき各校の研究が進められ、学校長を中心とした明確な指導方針、授業改善方針を持ち、学校が総力をあげて主体的に学ぶ子どもたちを育て、より高い学力向上に繋がることを期待する。
- ・ホッケーの全国大会の出場、上位入賞等、京都トレーニングセンターにおける専門的な指導が大きな成果をあげており、今後も京都トレーニングセンターの積極的な活用に期待する。
- ・学校施設の環境改善により学習環境は大きく改善されたが、施設の老朽化に伴う修繕も顕著であり、今後計画的な大規模修繕が必要である。
- ・双葉町交流事業での実践する社会教育や文化財保護における施設改修、歴史調査資料や切り絵等の取り組み等、充実した事業が展開されている。図書室の充実に向けた取り組みとともに、文化の町にふさわしい町になることを期待する。
- ・競技・生涯スポーツにおいては、京都トレーニングセンターを活用し、町民の体力競技力を引き続き向上させる取り組みに期待するとともに、併せてCATV、町の広報等を通じて住民に周知徹底し、参加を促して健康の増進を図ることを期待する。



(4) 評価結果

I 学校教育

1 学校運営

項 目	事業内容・実績・対象者	成果・課題等	評価
<p>(1) 特色ある学校づくり</p> <p>校 園 長 主 導 の 指 導 体 制 の 下、 地 域 の 特 性 を 生 か し、 創 意 あ る 教 育 課 程 を 編 成 し、「 特 色 あ る 学 校 づ く り 」 に 努 め る。</p>	<p>① 学校評価 町内全学校・園において、町単 独実施の学校評価を年間2回実施 した。(10月、2・3月)</p> <p>② 学校訪問等 教育委員による学校訪問、南丹 教育局・町教育委員会による学 校経営訪問を行い、学校教育の 実施状況を把握した。</p> <p>③ 学校と地域の連携の推進 各学校・園において、地域住民 と連携の上、豊かな自然、伝統 文化等の地域資源を活用した特 色ある取り組みを進めた。</p> <p>④ 京丹波町教育振興基本計画及 び平成29年度教育の指針に基 づき、学校教育及び社会教育を 進めた。</p>	<p>○ 町内全学校・園において学 校評価を実施し、その結果を 各学校の学校だより、ホーム ページ等で町民へ公表した。</p> <p>○ 各校とも特色ある教育課程 を編成し、適切な教育活動が 実施できた。</p> <p>○ 各学校・園において、地域 人材の積極的な活用が図れ、特 色ある教育活動としての成果が 得られた。</p>	<p>A</p>
<p>(2) 教職員研修の充 実</p> <p>教職員は、教育公務 員としての職責を自 覚し、高い専門性を 身につけ指導力の向 上に努めるとともに 学校評価を通して学 校経営参画意識を高 める。</p>	<p>① 教職員等の研修 各種公的研修の機会 を提供した。また、 全教職員を対象に学 力向上をめざした夏 季研修会を実施する とともに、授業改善 を図る「学びを育む 京丹波町メソッド」 推進プロジェクトチ ームによる実践発表 を行った。</p>	<p>○ 公的な研修会等に各 校の教職員が計画的 ・積極的に参加でき た。</p> <p>○ 夏季研修会は、教 育現場の実践的な講 演としたことにより 充実した研修会とな った。</p> <p>○ 学力向上を目指し た「学びを育む京丹 波町メソッド」を確 認する研修会とする ことができた。</p> <p>● 教職員一人一人の 指導力量を高めるた めには、「学びを育む 京丹波町メソッド」 の理解を</p>	<p>B</p>

	<p>② 研究会支援事業 小学校研究会・中学校研究会等へ財政的な支援を行った。</p> <p>③ 学校評価 学校評価について校園長会議において、全学校・園への指導・援助を行った。</p>	<p>深めるとともに、それぞれの教室で実践的に活用出来るよう各校での取組を充実することが不可欠である</p> <p>○ 各学校・園において、年間2回の自己評価を実施し、学校運営の改善に寄与した。</p>	
<p>(3) 健康・安全の推進</p> <p>基本的な生活習慣の確立をはじめ、食育指導並びに安全指導と安全管理を徹底し、心身ともに健康で安全に生き抜くための正しい判断力や実践力を身につけた児童生徒を育成する。</p>	<p>① 食育の推進 各校において京丹波町食育推進計画に基づく学校の計画をもとに計画的に食育を推進した。「あったらいいなこんな食べものアイデアコンテスト2017」では、積極的に作品の応募を行った。</p> <p>② 安全な通学の確保 通学における安全等を確保し、保護者負担を軽減するため、スクールバスの運行委託及びJRバス通学費にかかる一部負担金について無償化した。また、PTAや地域などの協力により登下校の見守り活動が実施できた。</p> <p>③ 通学路の安全点検の実施 町通学路交通安全プログラムに基づき、町通学路安全推進会議を開催し、通学路安全確保に向けた継続的な取組みとともに通学路の安全点検を実施した。</p>	<p>○ 「きょうと食いく先生」や地域の人材活用を図り、地域の豊かな食材と食文化を学ぶとともに、校種間連携を行い、継続的・計画的に食育を推進した。</p> <p>○ 蒲生野中学生の作品が最優秀賞に選ばれ商品開発された。</p> <p>○ 通学費に係る保護者の負担軽減が図れた。また、地域ぐるみで子どもを見守る気運が高まった。</p> <p>○ 危険箇所について、各関係機関と連携しながら通学路の安全確保に向けた取組が実施できた。</p>	B

	<p>④ 健康診断の実施 学校保健法に基づく学校医、学校歯科医、薬剤師の配置、児童・生徒及び教職員の健康診断並びに安全管理、学校における環境衛生検査等を実施した。</p> <p>⑤ 学校歯科医と協議を重ね、平成29年度から全小中学校においてフッ化物洗口を実施した。 幼稚園での平成30年度からの実施に向けた準備を進めた。</p> <p>⑥ 安全管理 関係機関から提供された情報（熊、不審者等）を含め、学校・園に対して安全に関する情報を迅速に伝えた。また、荒天により通学時の安全が確保できないと判断した場合における臨時休校措置対応マニュアルを整備した。</p> <p>⑦ 学校、保健所、行政機関と連携し、インフルエンザ予防対策を推進した。</p>	<p>○ 健康診断及び環境衛生検査等を通じて、児童・生徒及び教職員の健康・安全が図れた。</p> <p>○ 平成23年度より全小中学校において実施しており、一人当たりの平均むし歯数が減少する成果が表れている。 [参考] 1人平均むし歯数（6年生）</p> <table border="1" data-bbox="997 772 1340 918"> <tr> <td></td> <td>H23</td> <td>H28</td> </tr> <tr> <td>京丹波町</td> <td>0.89</td> <td>0.34</td> </tr> <tr> <td>京 都 府</td> <td>1.01</td> <td>0.73</td> </tr> </table> <p>○ 安全情報を迅速に流すことにより、児童・生徒・園児の安全が確保できた。</p> <p>○ 気象警報が発令されていない場合においても、通学・通園時の安全確保等を考慮し、中学校単位で臨時休校措置ができるようマニュアルの共有が図れた。</p> <p>○ 的確な指導と判断により、重症化や長期化の防止に努めた。</p>		H23	H28	京丹波町	0.89	0.34	京 都 府	1.01	0.73	
	H23	H28										
京丹波町	0.89	0.34										
京 都 府	1.01	0.73										
<p>(4) 学校管理（危機管理含む）の向上</p> <p>校園長主導の下、地域に開かれ信頼される学校づくりを目指した学校経営の取り組みを進める。</p>	<p>① 管理職会議 校園長会議10回、教頭会議3回開催し、町教育方針の徹底を図った。 新たに発足した町内教頭会との連携を進めた。</p> <p>② 学校管理 管理職会議等の機会をとらえ、日</p>	<p>○ 校園長会議及び教頭会と連携した教頭会議を開催したことで教育委員会としての方針を徹底できた。</p> <p>○ 学校施設の日常的な管理の徹底が図れた。</p>	A									

	<p>常に防犯対策や情報管理の徹底について注意喚起等を行った。</p>		
--	-------------------------------------	--	--

## 2 学力充実・個性伸長

項目	事業内容・実績・対象者	成果・課題等	評価
<p>(1) 学習指導の徹底</p> <p>知識・理解はもとより、自ら学ぶ意欲や思考力・判断力・表現力などを育成するため、個に応じた指導方法の工夫改善に努める。また、その達成状況を評価・検証し、学習指導に努める。</p>	<p>① 学校・園計画訪問</p> <p>学校教育指導主事により、3校（下山小、竹野小、瑞穂中）で実施した。</p> <p>② 学力に関わる学校訪問</p> <p>京都府学力診断テストの結果を受けて、全ての学校・園の学力に係る訪問指導を実施した。</p> <p>京都府や南丹教育局の指定校においては、必要に応じて訪問し、課題や対応策について指導助言した。</p> <p>③ 学力向上対策会議の開催</p> <p>本会議のもとに「京丹波町学力向上メソッド実践研究グループ」を立ち上げ、教育委員会と学校現場が協働して、メソッドを活かした授業改善を図る。</p> <p>④ 「学びを育む京丹波町メソッド」推進プロジェクトチームによる実践研究</p> <p>⑤ 中学校ブロック別研修会</p> <p>授業を中心にした研修会を各ブロック年間2回行った。</p>	<p>○ すべての学校で、その実態・課題に即した教育課程を編成・実施するとともに、授業時数の確保ができた。</p> <p>○ 京都府学力診断テストの結果分析をもとに、2学期以降の学力にかかる取組の見直しを図り、各校の学力実態に応じた課題対応を図ることができた。</p> <p>○ 学力向上対策会議を2回開催し、本町の課題や進捗状況について議論し、「学びを育む京丹波町メソッド」の徹底を図った。</p> <p>○ メソッド実践研究グループによる管外視察（長野県木島平村）や全小中学校の授業研究を通して、「めあて」から「振り返り」まで一貫した指導の在り方や、学びを育む環境づくりについて議論を深め、各校の指導の充実を図ることができた。</p> <p>○ 幼・小・中の教員が授業を通して研修を進めることにより、校種間連携が進んだ。</p>	B

	<p>⑥ 学力診断テスト等による学力実態の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力・学習調査（小6・中3）へ、全学校が参加した。</li> <li>・京都府学力診断テスト（小4・中1・中2）を実施した。</li> <li>・全小学校で標準学力調査（国語・算数）を実施した。</li> <li>・全中学校で標準学力調査（国語・数学・社会・理科・英語）を実施した。</li> <li>・平成 29 年度全国学力学習状況調査の結果から 小学校の国語A、国語B、算数A、算数Bともにほぼ全国平均並み。中学校の国語A、国語Bについては、ほぼ全国並みだったが、数学A、数学Bについては、やや課題が見られた。</li> <li>・全小中学校でQUテスト（※）を実施した。（小学校は4年生以上） （※）一人ひとりについての理解と対応、学級集団の現状と今後の対応方法を把握するための心理テスト。</li> </ul> <p>⑦ 教務主任会議</p> <p>府システム開発校の研究発表会に参加し先進事例に学んだ。</p> <p>各種学力診断テスト結果を基にした町内児童生徒の実態把握を行った。</p> <p>⑧ 京都丹波人材育成アドバイザーによる若手教員の学級経営講座を年間6回開催した。</p>	<p>○ 各種テストの結果、児童・生徒の学力実態を把握するとともに、各校の課題に応じた対応策や個に応じた指導に生かすことができた。</p> <p>● 全国学力学習状況調査等から町内の児童生徒の学力は、おおむね全校平均と言えるが、さらに詳細に分析すると算数、数学の学力に課題が見られるなど向上の余地がある。京丹波町メソッドの各校・各学級への浸透を進め授業改善に取り組み、算数、数学を中心とした学力向上を図る必要がある。</p> <p>○ 児童生徒の集団への適応の様子を把握するための心理テストを行い、学級集団の状況の把握と今後の対応に向けての資料とした。</p> <p>○ 学力充実のためには、学校体制として明確な改善方針と学校の組織力をあげての取組が必要なことを学ぶことができた。</p> <p>○ 11名の受講者を対象に積極的な生徒指導の視点による学級経営の手法について、校種を越えて学び合い、学びに向かう学級集団づくりの実践的方法について研修を深めることができた。</p>
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>⑨ 小学校個別補充学習「ジュニアわくわくスタディ」(4・5年生)を丹波ひかり・瑞穂・和知小学校で実施した。</p> <p>⑩ 中学校1年生集中基礎学習「振り返りスタディ」事業、中2学力アップ集中講座、中学校全学年「チャレンジ学習事業」を実施した。</p> <p>⑪ 校内研修の充実のため、指導主事による要請訪問を実施した。</p> <p>⑫ 教育実践推進校等の指定研究に取り組んだ。          学力向上システム開発校          ・丹波ひかり小学校(研究発表会)          ・下山小学校(研究発表会)          京都丹波の研究指定校          ・蒲生野中学校          (公開授業研・研究発表)          ・瑞穂小学校          学校毎の町指定研究の実施          [学力向上に関する特徴的な取組]          ・和知小学校、和知中学校による小中一貫教育を指向した研究          (小学校での専科指導:外国語活動、音楽)</p> <p>⑬ 丹波ひかり小学校で、京都美術工芸大学とのパートナースクール事業を実施した。</p> <p>⑭ 町単費支援員等を配置した。          学習支援員等:小学校13人          中学校13人          外国語支援員:1人</p> <p>⑮ 学校図書の実充及び全小中学校</p>	<p>○ 参加児童は、「わからない」「できない」から「できる」ことが増えたことを実感し、意欲的に学習に取り組むようになった。</p> <p>○ 基礎的な学力の向上と定着が図れた。</p> <p>○ 各校の課題に応じた指導助言することができた。</p> <p>○ 学力向上システム開発校や研究指定校の研究発表会等で、研究計画や研究内容について学び合い、自校の授業改善の見直しを図ったり改善のための具体の方策を立てる参考としたりすることができた。</p> <p>○ 中学校教員による小学校での専科指導により、教職員の児童理解の深化と児童の中学校への円滑な進学が進んでいる。</p> <p>○ 大学との連携と専門的な指導により、美術・工芸への関心を高めることができた。</p> <p>○ 町単費支援員等の配置によるきめ細かな支援により学習の定着等が図れた。</p> <p>○ 読書指導員の配置により、児</p>	
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

	<p>に読書指導員（8人）を配置した。</p> <p>⑯ 小学校外国語活動の実施にあたり、中学校英語担当が小学校で指導するなど、小・中の連携を図った。</p>	<p>童・生徒の読書意欲の向上等が図れた。</p> <p>○ 町内小学校において外国語活動が実施でき、中学校での授業への接続的な取り組みが実施できた。</p>	
<p>(2) 進路指導の充実と就学機会の保障</p> <p>児童生徒が自らの生き方を考え、将来を展望できるよう教育活動全体を通して、組織的・計画的・継続的な進路指導を推進する。</p>	<p>① 進路希望調査等の実施          中学3年生を対象に学期毎の進路希望調査及び学力実態調査を実施し、生徒の状況把握に努めた。</p> <p>② 体験学習の実施          望ましい職業観や勤労観を身に付けるため、全小学校（4年生等）及び中学校（2年生）で体験学習を実施した。</p> <p>③ 経済的な理由により就学が困難な児童生徒に対し、学用品費・学校給食費等を支給し、安定した就学を保障するための支援を行った。          小学校 79人、中学校 66人</p> <p>④ 経済的な理由により就学が困難な児童生徒に対し、就学前支給を実施した。          小学校 13人、中学校 16人</p> <p>⑤ 経済的理由により就学困難な高校生・大学生等に対し育英資金を支給した。          大学生 10人          専門学校生 5人          高校生 16人          高等専門学校 1人</p>	<p>○ 適切な情報提供を行うことで、進路希望が実現した。高校等への進学率は100%。（106人/106人）</p> <p>○ 各事業所の協力を受けて、円滑な体験学習が実施できた。</p> <p>○ ニーズにあった就学援助を行うため、適宜、認定基準の見直しを行い、対象範囲を拡充し運用している。</p> <p>○ 新入学準備のため、従来より支給時期を早め、ニーズにあった就学援助が実施できた。</p> <p>○ 勉学意識が高いにもかかわらず、経済的な理由により就学が困難な高校生及び大学生の就学機会の確保につながった。</p>	A

<p>(3) 特別支援教育の充実</p> <p>障がいのある児童・生徒の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進、交流及び共同学習の推進を図る。</p> <p>支援を要する児童・生徒を的確に把握し、関係機関と連携しながら適切な就学指導に努める。</p>	<p>① 全小・中学校に特別支援学級を設置し、個別の指導計画及び教育支援計画作成状況についての把握と助言を行った。</p> <p>② 町内3会場において「子ども交流会」を開催し、交流と共同学習を推進した。(8月2日実施) (参加者の合計 319名) [ 開催場所 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・丹波自然運動公園体育館(蒲生野中学校ブロック)</li> <li>・山村開発センター(瑞穂中学校ブロック)</li> <li>・和知ふれあいセンター(和知中学校ブロック)</li> </ul> <p>③ 就学指導推進のため、町教育支援委員会及び特別支援教育コーディネーター会議を開催した。</p> <p>④ 教育支援委員会便りの全戸配布を行った。</p> <p>⑤ 丹波ひかり小学校において、通級指導教室を2学級開設している。</p>	<p>○ 全小・中学校において個別の指導計画作成のもとに実践化ができています。個別の教育支援計画が作成できました。</p> <p>● 通常の学級に在籍している支援を要する児童・生徒の個別の指導計画の充実・実践化が継続して必要である。</p> <p>○ 支援を必要とする子ども等との交流を通じて、相互理解を深めることができた。今後も取り組みを継続していくために、より充実した交流内容について検討を進める。</p> <p>○ 関係機関等との連携を強化し、就学後も含めた組織的・計画的、継続的な相談支援を推進する。</p> <p>○ 通常学級に在籍する特別な支援を必要とする児童・生徒への支援の在り方について研修を深めることができた。</p> <p>○ 教育支援委員会便りの全戸配布により、子ども交流会や通級指導教室、特別支援に係る相談事業等について啓発することができた。</p> <p>○ 教材備品の充実を進め、課題のある児童への指導環境がより充実した。</p>	<p>B</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------



		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中学校のニーズに対応するため学級の増設が必要である。</li> </ul>	
<p>(4) 幼稚園教育の推進</p> <p>幼児の豊かな心身の発達を促すため、教育目標を明確にし、幼児の実態や地域社会の実態に即応した特色ある園づくりに努める。</p>	<p>① 特色ある園づくりとして、研究主題に基づく実践を推進する中で、保幼小中連携保育研究会や園評価事業等に取り組んだ。</p> <p>② 京都府公立幼稚園・こども園教育研究会、平成 28・29 年度研究指定園の取り組みを推進した。</p> <p>③ 町全域で「もうすぐ1年生事業」に取り組み、保・幼・小の連携、接続を図った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保幼小中連携保育研究において、積極的に指導・支援ができた。</li> <li>○ 研究主題に基づき、指定研究2年目の取り組みを充実することができた。</li> <li>○ 幼稚園教育要領、保育所保育指針及び小学校学習指導要領の趣旨を踏まえ、円滑な接続が図れた。</li> <li>○ すべての就学予定児を対象に実施し、保・幼・小の連携強化が図れた。</li> <li>○ 就学指導において、幼稚園、保育所の連携が図れた。</li> <li>○ 全小学校において、スタートカリキュラムを作成することができた。</li> <li>○ 幼稚園において、アプローチカリキュラムが作成された。</li> </ul>	A
<p>(5) 認定こども園の開設準備</p> <p>就学前児童の健やかな育成支援を進めるため、幼稚園と保育所の良さを活かした「幼保連携型認定こども園」の設立に向けた取り組みを進める。</p>	<p>① 認定こども園開設準備委員会、専門部会を設置し、開設にあたっての課題や調整すべき基本的事項の検討、解決に向けた調査・研究を行った。</p> <p style="padding-left: 40px;">開設準備委員会 5回 統合検討部会 7回</p> <p>【参考】京丹波町子ども・子育て審議会の開催状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 認定こども園開設に向けて協議、調整を重ね、京丹波町子ども・子育て審議会における審議、答申を受け、「町立認定こども園開設に係る基本計画」、「京丹波町立(仮称)たんばこども園新園舎建設基本計画」を策定した。</li> </ul>	A

	<p>審議会（全体） 6回 統合園舎整備検討部会 3回</p> <p>② 職員研修、先進地視察を実施するとともに、専門家による各園等の訪問指導研究会を行った。</p> <p>職員研修 1回 先進地視察 2回 訪問指導研究会 4回（各園1）</p>	<p>○ 認定こども園に関する理解を深めるとともに、職員の共有認識を育むことができた。</p> <p>また、各園の保育現場における環境づくり・園運営における課題研究について実践することができた。</p>	
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

### 3 人間性を育む教育

項目	事業内容・実績・対象者	成果・課題等	評価
<p>(1) 道徳教育の充実</p> <p>豊かな人間性を育む道徳教育を、教育活動全体を通じて推進し、児童生徒一人ひとりに確かな道徳的実践力を育成する。</p>	<p>① 道徳教育推進計画の検証と助言を行った。</p> <p>② 「道徳の時間」の充実に向け「私たちの道徳」「京の子ども明日へのとびら」等の資料活用について指導を行った。</p> <p>③ 道徳的実践力を培うため、体験を伴う教育活動を指導・推進した。</p>	<p>○ 各校において全体計画・年間指導計画が作成でき実践することができた。</p> <p>○ 道徳の教科化に向けて、職員研修の充実を図った。</p> <p>○ 各校とも、「私たちの道徳」「京の子ども明日へのとびら」を授業で活用することにより豊かな人間性を育む道徳教育の一層の充実を図る指導ができた。</p> <p>○ 各教科等との関連を持たせた指導や、地域や児童生徒の実態に応じた特色ある指導が進められた。</p> <p>○ 学校・家庭・地域総がかりで育む心の教育を進めるため、保護者や住民対象の「道徳」の公開授業が定着した。</p>	A
<p>(2) 人権教育の充実</p>	<p>① 人権教育推進計画の検証と助言を行った。</p>	<p>○ 各校で実態・課題に対応した全体計画・年間指導計画を見直</p>	A



	⑥ 「いじめをなくす京丹波町子ども宣言」に基づき、各校での取組を行った。	○ 各校で「子ども宣言」に基づく取り組みが展開され、児童・生徒のいじめに対する認識が醸成された。	
<p>(4) 文化・スポーツの推進</p> <p>芸術文化活動に親しむ態度、心情を育てるとともに、地域社会との連携を図る。</p> <p>また、運動することの楽しさや喜びを味わうとともに各種大会への参加を促す。</p>	<p>① 全小中学校において、町外から招聘した劇団等による芸術鑑賞を実施した。</p> <p>② 地域に根ざした伝統文化にふれ、継承する心を育てる取組を進めた。</p> <p>③ 南丹地区及び南・船地区の小学生駅伝に参加した。</p> <p>④ 中学校クラブ活動において、外部指導者の活用も含め、専門性の高い指導を実施した。</p> <p>⑤ 小中学校において、持久走の取組や駅伝競走大会への参加、丹波自然運動公園施設の積極的な活用により、体力向上の取り組みを進めた。</p>	<p>○ 生の演劇等に触れることにより、豊かな心の醸成につながった。</p> <p>○ 太鼓や浄瑠璃などの伝統芸能に対する理解と継承意欲が高まるとともに、各行事において取り組みの成果を披露し、高い評価を受けた。</p> <p>○ 出場選手だけでなく、練習に取り組んだ児童の走力向上と仲間づくりが図れた。</p> <p>○ 全国大会等への出場や競技技術、意欲の向上につながった。(全国大会出場：蒲生野中学校男子ホッケー部、瑞穂中学校女子ホッケー部)</p> <p>○ 蒲生野中学校・瑞穂中学校のホッケー部が京都トレーニングセンターにおいて専門的な指導を受け、技術・意識の向上につながった。</p>	A

#### 4 社会の変化に対応する教育

項目	事業内容・実績・対象者	成果・課題等	評価
<p>(1) 国際理解教育の充実</p> <p>わが国の文化と伝統を理解・尊重するとともに、ALT事業や国際交</p>	<p>① 中学校にALT(2人)を配置し、外国語学習を推進した。併せて、小学校にALTや外国語支援員等を派遣し、国際理解教育を推進した。</p> <p>② 国際交流事業として、中学生の</p>	<p>○ ALT等の配置により町内での英語教育や外国語活動が充実した。</p> <p>○ 中学校における国際理解を</p>	B

<p>流事業等を活用し、諸外国の文化や伝統を理解・尊重する態度を育成する。</p>	<p>ニュージーランド生徒派遣事業及びタイエリ・カレッジ校生徒受け入れ事業を実施した。</p> <p>③ 瑞穂小学校を京丹波町教育委員会指定「英語教育実践推進校」とし、外国語活動の研究を進めた。</p> <p>④ 和知小学校において、和知中学校と連携し、外国語活動に取り組んだ。</p> <p>⑤ 急速なグローバル化に対応した外国語によるコミュニケーション能力育成を図り、英語検定資格取得の推進を図るため、和知中学校において、町独自の英語検定を試行した。</p>	<p>推進し、国際化・情報化時代に対応できる人材の育成ができた。</p> <p>● 新学習指導要領への移行を見据えて、町内小学校に研究の成果を発信する。</p> <p>○ 新学習指導要領への移行を見据えて、中学校への接続について共通理解を図れた。</p> <p>● 取組の成果を町内全ての中学校に広げていく。</p>	
<p>(2) 環境教育の推進</p> <p>環境問題に対する関心を高め、実践活動に結びつく能力を育成する。</p>	<p>① 環境問題を「総合的な学習の時間」等で行い、意識の向上に努めた。</p> <p>② 森林について学習を進め、各行事への参加等を通じて、森林環境に対する知識と意識の向上を図った。</p> <p>③ 南丹保健所と連携したICTを活用した環境教育の推進事業に和知小学校と下山小学校で取り組んだ。</p>	<p>○ 各校におけるエコ活動を家庭や地域に発信できた。</p> <p>○ 和知小学校緑の少年団の活動をはじめ、各校で放射線に関する学習を含む森林・環境学習が積極的に取り組まれた。</p> <p>○ 和知小学校と下山小学校では、保健所との連携事業により、学校周辺の生物の多様性や地球環境保全の大切さを学ぶことができた。</p>	A
<p>(3) 情報教育の推進</p> <p>児童・生徒の発達段階に応じ、情報手段を主体的に活用する能力を育成するとともに情報モ</p>	<p>① 小中学校の学習系パソコン等の機器更新を行い、タブレット端末を導入したことで、主体的、対話的で深い学びの具体化に向け、より良いICT環境が整備できた。</p>	<p>○ パソコン教室だけでなく、場所を選ばずタブレット端末を利用できることで、多様な教科へのICT活用が可能となった。</p>	A

<p>ラルの指導に努める。</p>	<p>② 小中学校の教職員に対して、情報セキュリティ及びホームページ運用についての情報提供を行った。</p> <p>③ 児童・生徒を対象とした研修会の開催等により、情報モラルの指導・助言を行った。</p>	<p>○ 学校において安心してICTを活用できるよう、セキュリティ向上に取り組めた。</p> <p>○ 学校における指導やPTAの研修を通じて、家庭を含めた児童・生徒の情報モラルの向上が図れた。</p>	
<p>(4) 土曜日を活用した教育の研究</p> <p>土曜日を活用した効果的な教育活動の実施に向けた研究を行う。</p>	<p>① 土曜日を活用した教育の在り方実践研究事業（府指定事業）により、全小中学校（指定代表校：瑞穂小学校）において土曜日を活用した取り組みを行った。</p>	<p>○ 地域・PTAと連携した行事や、学力の補充などに取り組み、成果を得ることができた。</p>	A
<p>(5) 少子化等の課題に対応した教育の研究</p> <p>少子化の進行による児童・生徒数の減少や、社会情勢の変化に対応し、本町の特色を生かした教育の研究を進める。</p>	<p>① 少子化などの社会状況の変化に対応した学校教育のあり方を研究するための指定校を置くなどの取り組みを進めた。</p> <p>② 小中学校や地域と須知高校の連携を深める食育環境パートナーズクール事業等を充実させた。</p> <p>③ 「首長部局等との協働による新たな学校モデルの構築事業」（文科省委託事業）により、首長部局と学校・地域との協働に取り組み、地域の活性化や少子化への対応について協議・検討した。</p>	<p>○ 小中学校間で授業、学校行事及び教職員研修等の連携が進み、児童・生徒の学びをより深めることができた。</p> <p>○ 小中学校や地域と須知高校との間で互いに学び合いや連携がいっそう進んだ。</p> <p>○ 首長部局・学校・地域関係者による協議会を立ち上げ交流や研修、学校説明会を実施できた。</p> <p>● 本町の特色を生かした取り組みを見極め、活性化や少子化対策に繋がるよう、さらに充実させていくことが必要である。</p>	B

5 教育環境の整備

項 目	事業内容・実績・対象者	成果・課題等	評価
<p>(1) 学校施設の整備促進</p> <p>安全・安心な教育環境を目指して施設整備等に取り組む。</p>	<p>① 幼稚園及び小中学校の施設及び備品について126件の修繕、改修を実施し、より良い教育環境及び安全・安心な施設整備に努めた。</p> <p>② 蒲生野中学校校舎棟のトイレ内装及び設備改修を実施し、バリアフリー化、床のドライ化及び便器の一部洋式化等を実施し、施設の快適さと質的向上を図った。</p>	<p>○ 安全、適切な教育環境の整備を推進した。</p> <p>● 設備・備品の老朽化に伴い多くの修繕が必要となっている。計画的な対応が必要である。</p> <p>[参考]</p> <p>平成26年度：161件 平成27年度：153件 平成28年度：159件</p>	<p>B</p>
<p>(2) 学校給食の運営</p> <p>地元産食材を生かし、安全安心でバランスのとれた学校給食を安定して提供する。</p>	<p>① 学校給食の充実</p> <p>全小・中学校において学校給食の充実を図り、京丹波町産、京都府産の食材を積極的に使用した。</p> <p>また、安全安心な給食を安定して提供できるよう財源確保に努めた。</p> <p>② 安全な学校給食の提供</p> <p>全小・中学校における食物アレルギー対応の指針となる「京丹波町食物アレルギー対応マニュアル」に基づき対応食を提供した。</p>	<p>○ 全小・中学校で地元食材を活用した学校給食を提供することができた。</p> <p>● 就学援助費の学校給食費の現物給付により、徴収率が向上したが、給食費の未納に対し、引き続き徴収強化を図る必要がある。</p> <p>○ 食物アレルギーにおける緊急時の対応等を定めることにより、より安全な環境づくりを進めることができた。</p> <p>● 学校給食調理員からノロウイルスの陽性反応が検出されたため、ノロウイルス等の対応マニュアルに基づき、安全性を確認するまでの間、給食を停止した。</p>	<p>B</p>

## II 生涯学習

### 1 生涯学習・社会教育の振興

項 目	事業内容・実績・対象者	成果・課題等	評価
<p>(1) 社会教育委員活動の充実</p> <p>京丹波町の社会教育に関する諸計画の立案、会議の開催を行う。</p> <p>また、教育委員会の諮問に応じ、研究調査を行い、意見を述べる。</p>	<p>社会教育法第 17 条に基づき京丹波町の社会教育に関し教育長を経て教育委員会に助言するため、社会教育に関する計画立案、会議の開催、教育委員会の諮問に対しての研究調査を行う。委員 12 名。</p> <p>① 社会教育委員会議 4/17、5/19、7/26、12/5、2/22</p> <p>② その他会議等 ・南丹地区協議会役員会 3 回開催 ・京都府協議会主催総会開催 ・全国研究大会に参加</p> <p>③ 子ども見守り活動 ・丹波ひかり小学校 (毎月 19 日) ・下山小学校 (毎月 5 日) ・竹野小学校 (毎月 25 日) ・瑞穂小学校 (毎月 10 日) ・和知小学校 (毎月末)</p> <p>④ 双葉町交流事業 10 月に 4 日間の双葉町訪問を実施し今後の交流のあり方等について意見交換を行った。また、4 日間に渡り双葉町の実態と復興計画を学んだ成果を受け、町内で新たな取組みを展開していくよう検討を行った。</p>	<p>○ 実践する社会教育委員として、その取組みは全国でも評価を受けている。</p> <p>○ 町が実施する社会教育事業に対し、その計画・立案について指導、助言を行うと共に、京都府等が実施する研修会や研究大会に積極的に参加し、研鑽を深めた。</p> <p>○ 実践する社会教育委員としての活動であり尊い活動である。</p> <p>○ 双葉町交流の今後を検討、立案するために行った訪問であり、平成 30 年度に向けての具体的な取組みを検討することができた。</p>	A
<p>(2) 生涯学習の推進</p> <p>町民の生涯学習の要望にこたえるため、学校教育機関や他の行政機関及び社会教育団体等との連携を図り、町</p>	<p>① いきいき大学 (高齢者講座) 「いきいき大学・ひまわり学園合同開講式・コミュニケーション講座」「シルバーオリンピック」「植物の講話と苔玉作り」「健康講座」「絵本による思いやり講座」「創作教室 (切り絵)」「いきいき大学・</p>	<p>○ 「いつでも、だれでも、どこでも」学ぶことができる機会づくりの提供として、高齢者、障がい者などの対象者別課題に対応した講座や教室を開催することができた。</p>	B



<p>内の教育施設や教育資源を活用し、生涯の各時期に応じた学習機会 ・内容の充実に努める。</p>	<p>ひまわり学園合同閉講式、詐欺にあわないために・レクリエーション」(7講座開催) 学生数 46人 年間延べ参加者数 178人</p> <p>② ひまわり学園(障がい者講座) 「いきいき大学・ひまわり学園合同閉講式・コミュニケーション講座」「人権映画会」「社会体験学習」「人権講演会」「いきいき大学・ひまわり学園合同閉講式、詐欺にあわないために・レクリエーション」5講座開催 学園生数 23人 年間延べ参加者数 92人(付添等含む)</p> <p>③ 人権啓発推進事業 7/29 人権強調月間街頭啓発活動(道の駅「京丹波味夢の里」「丹波マーケス」「瑞穂の里さらびき」「和」等) 7/29 人権映画会(山村開発センターみずほ)映画上映「オケ老人」参加者約 250人</p>	<p>○ いきいき大学について、リピーターが多いが、新規の参加者が少し増えた。また、高齢者が楽しく交流を深めながら学習できる場を設けることができた。</p> <p>● 参加者の内訳が地域別で見ると偏りがある。開催場所への交通手段の問題や受講者のニーズにあった講座等の開催などが課題と思われる。</p> <p>○ ひまわり学園については、各種講座等において、参加者の希望も取り入れつつ、障がいの種類にも配慮しながら、互いを大切に、励ましあって、一体感を持ちながら、楽しく学ぶことができた。</p> <p>○ 各講座(教室)とも、受講者から継続要望が出ている。</p> <p>● 継続の要望があるものの、参加者は、高齢化等によって減少傾向にあり、今後さらに参加者の必要性和一致した魅力ある事業の内容を考慮していくことが必要であると考える。</p> <p>○ 町及び教育委員会並びに人権啓発推進事業の3者が連携・協働して人権映画会、人権講演会等の人権啓発事業を実施した。</p> <p>○ 「部落差別の解消の推進に関する法律の推進に関する法律」への理解を深めるため、</p>
-------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>8/21 人権啓発推進協議会総会 (和知ふれあいセンター)</p> <p>8/1～31 人権強調月間／人権啓 発のぼり旗の町内一斉掲示</p> <p>10/25 人権教育・啓発推進研修会 (山開発センターみずほ) 講演 「部落問題と向き合うために～ 部落差別解消法時代の現状と課 題を考える～」 講師 京都市人権資料展示施設ツラッ ティ千本 事務局長・学芸員 本郷浩司 氏</p> <p>12/2 人権週間街頭啓発活動 (道の駅「京丹波味夢の里」 「丹波マーケス」「瑞穂の里さら びき」「和」等)</p> <p>12/2 人権講演会 (和知ふれあいセンター) 講演 「これからの人権教育・啓発の 課題～部落問題をどう語り、伝 えるのか～」 講師 関西大学教授 石元清英 氏 参加者約 110人</p> <p>12/4～10 人権週間／人権啓発の ぼり旗の町内一斉掲示</p> <p>2/16 管外視察研修 京都市人権資料展示施設ツラッ ティ千本視察及びフィールドワ ーク (千本～西陣)</p> <p>3月 人推協だより「かけはし」 発行 (第19号)</p> <p>通年 各区・自治会・団体・事業 所等自主研修 58回 1,384人</p>	<p>指導者研修会として初の人権 教育・啓発推進研修会を開催 した。</p> <p>● 各区・自治会での実施率は 5割程度で、研修実施、未実 施の固定化が見られた。また 若い世代の参加を増やしてい く工夫も大切であり、さらな る拡大のためには、研修サポ ーターの設置等、支援体制の 構築が必要である。</p> <p>○ 人権啓発推進協議会だより 「かけはし」を発行し、人権 研修の取り組み状況などを広 報した。</p> <p>● 「人権3法」(「部落差別の 解消の推進に関する法律」「本 邦外出身者に対する不当な差 別的言動の解消に向けた取組 の推進に関する法律」「障害を 理由とする差別の解消の推進 に関する法律」)の施行を受 け、人権教育・啓発の一層の 推進が課題である。</p>	
<p>(3) 社会教育団体等 の育成</p>	<p>① 公民館事業 ・公民館サークル登録団体及び文化 協会加盟団体の活動促進・支援の</p>	<p>○ 公民館や社会教育施設を拠 点として、自発的に展開され ている文化協会加盟団体や公</p>	<p>B</p>

<p>社会教育団体や公民館サークル登録団体、その他のグループによる自主的な活動、新たな活動の立ち上げ等を支援・促進する。</p>	<p>ため、施設充実と使用料減免を行い、利用促進を図った。</p> <p>中央公民館 利用数延 490 団体      桧山公民館 利用数延 204 団体      梅田公民館 利用数延 104 団体      三ノ宮公民館 利用数延 80 団体      質美公民館 利用数延 98 団体      和知ふれあいセンター      利用数延 198 団体      和知生涯学習センター      利用数延 11 団体</p> <p>② 公民館地域活動事業</p> <p>瑞穂地域の4公民館で独自の生涯学習事業やサークル活動を行い地域の交流・文化振興等を図るための支援及び助言を行った。</p> <p><b>【桧山公民館】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会見学会 6月</li> <li>・夏休み子ども体験教室 7月</li> <li>・みずほ夕涼み大会 8月</li> <li>・桧山地区体育大会 10月</li> <li>・桧山地区を歩こう会 11月</li> <li>・文化芸術鑑賞 3月</li> </ul> <p><b>【梅田公民館】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権学習 6月</li> <li>・社会見学会 7月</li> <li>・納涼大会 8月</li> <li>・運動会 10月</li> </ul> <p><b>【三ノ宮公民館】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフトバレーボール大会 6月</li> <li>・泥んこバレーボール大会 7月</li> <li>・大運動会 10月</li> <li>・三ノ宮ふれあい祭り 11月</li> <li>・社会見学会 2月</li> </ul> <p><b>【質美公民館】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グラウンド・ゴルフ大会 6月</li> </ul>	<p>民館サークル登録団体及び社会教育団体の支援を行うことにより、活動の促進が図れた。</p> <p>○ 公民館地域活動事業の内容について、委託契約と照らし合わせ事業確認を行った。</p> <p>○ 瑞穂地域各公民館で開催した公民館地域活動事業は、地域に密着し、多世代が学び交流するという生涯学習事業としての展開ができた。</p> <p>● 瑞穂地域の公民館地域活動事業に関して、地域振興団体等との連携が進んでいるが、町全体で今後の有り方について検討する必要がある。</p>	
------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会見学会 6月</li> <li>・グラウンド・ゴルフ大会 7月</li> <li>・食育教室</li> <li>・真夏のタベ 8月</li> <li>・高齢者学級：人権研修会</li> <li>・グラウンド・ゴルフ大会 9月</li> <li>・地区体育大会 10月</li> <li>・ふれあいまつり 11月</li> <li>・食育教室 12月</li> </ul> <p>③ 社会教育団体等育成事業 社会教育関係団体等に補助金を交付等の支援及び助言を行った。 京丹波町PTA連絡協議会 京丹波町女性の会 京丹波町文化協会 和知民芸保存会 丹波音頭保存会 京丹波町青少年育成協会 京丹波町人権啓発推進協議会 京丹波町体育協会 京丹波町スポーツ少年団</p>	<p>○ 社会教育団体に補助金交付や助言を行うことにより活動の促進が図れた。</p>	
<p>(4) 図書活動の充実</p> <p>多様な生涯学習のニーズに対応できるよう公民館設置の各図書室(6箇所)における蔵書・資料および運営の充実により利用促進を図るとともにボランティア団体(読み聞かせ等)の活動を支援する。</p>	<p>① 公民館図書活動事業</p> <p>町内6図書室開室</p> <p>中央公民館図書室 利用者数 延3,299人 貸出冊数 12,464冊</p> <p>和知ふれあいセンター図書室 利用者数 延1,046人 貸出冊数 3,432冊</p> <p>山村開発センター図書室 利用者数 延546人 貸出冊数 1,676冊</p> <p>梅田公民館図書室 利用者数 延95人 貸出冊数 191冊</p> <p>三ノ宮公民館図書室 利用者数 延131人 貸出冊数 398冊</p> <p>質美公民館図書室</p>	<p>○ 6図書室とも、利用者の希望を一定考慮した蔵書・資料の充実が図れた。</p> <p>○ 公民館ごとの図書室の開室により、地域に根ざした図書活動事業が展開できた。</p> <p>● 施設、設備面に行き届いていない部分があるため、サービスの向上を図るためにも、設備等の均一化を図る。</p>	<p>B</p>

	<p>利用者数 延 218 人 貸出冊数 747 冊</p> <p>② 図書室担当職員会議 町内 6 図書室の職員により、利用者の増加に向けた環境改善及び図書室間の連携等について検討を行った。(8/28)</p> <p>③ 図書室の充実に向けた検討会議 図書室職員と社会教育委員、外部協力者による会議を行い、町内図書室の改善策等の説明と今後の方向性について検討を行った。(11/10)</p> <p>④ 開館時間の拡大等 ・ 桧山公民館図書室の開室時間を統一し、10 月から月・金曜日の開室時間を 1 時間早めた。 ・ 10 月から昼の入室時間を 11 時 30 分から 12 時 30 分に変更した。</p>	<p>○ 6 公民館図書室の担当者が集い、今後の図書室の充実を考えていく会議を開催し、活発な協議が図れた。</p> <p>○ 社会教育委員、外部協力者に参加していただき、今後の図書室の方向性の協議が図れた。</p>	
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

## 2 文化の振興と文化財保護

項 目	事業内容・実績・対象者	成果・課題等	評価
<p>(1) 文化の振興</p> <p>豊かな人間性をはぐくむため、地域の自然・文化・歴史などを深く理解し、伝統文化・遺産を守り、継承発展に努める。</p> <p>また、優れた芸術文化にふれる機会の提供に努めるとともに京丹波町文化協会や文化団体の活動を支援・促進する。</p>	<p>① 文化協会活動支援事業 「京丹波町文化祭」 〈展示の部〉 開催日／11 月 18 日～20 日 場 所／山村開発センターみずほ 出 展／14 団体 〈ステージの部〉 開催日／11 月 19 日 場 所／和知ふれあいセンター 出 演／18 団体</p> <p>② ふるさと体験資料館運営事業</p>	<p>○ 文化協会だよりを発行し全加盟団体の紹介や文化祭の事前広報を行い、文化協会の PR ができた。</p> <p>○ 文化協会加盟団体の主体的な取り組みによって文化祭が開催できた。</p> <p>● 会員の高齢化や指導者不足などの理由で活動が停滞したり、文化協会を退会される団体がみられた。</p> <p>○ 各種体験会が世代間・地域</p>	B

	<p>ふるさと体験資料館運営委員（7人）により、本町に伝わる生活様式・民具の生活文化資源の保存・活用を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ふるさと人形展」開催（4/1～4/5） 参加者数 819人</li> <li>・「布ぞうりづくり体験」（7/30・7/31） 参加者数 55人</li> <li>・「しめ縄づくり体験会」（12/23） 参加者数 92人</li> </ul> <p>③ 平成29年京丹波町文化賞 会場：中央公民館 内容：文化賞1団体 文化功労賞5人、1団体 輝き賞7人</p>	<p>間交流の場として大きな成果があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 研修会を行い委員としての活動が活発化した。</li> <li>● 委員の高齢化もあり、新しい委員の人材確保が課題である。</li> <li>○ 文化賞の表彰により、町民の文化に対する意欲、関心を高め、郷土愛の涵養を図ることができた。</li> </ul>	
<p>（2）文化財の保護</p> <p>伝統文化の保存・継承活動を支援し、次代へと継承する。</p> <p>また、数多く存在する歴史的・文化的資産等の貴重な地域資源は、調査・保護対策を進め大切に保存するとともに文化教育、交流活動に積極的な活用を図る。</p>	<p>文化財の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国指定重要文化財 7件</li> <li>・府指定・登録・決定（環境保全地区） 26件</li> <li>・府暫定登録文化財 5件</li> <li>・町指定文化財 47件</li> </ul> <p>① 文化財保護 町内文化財防火査察</p> <p>② 伝統文化継承団体の支援</p> <p>③ 子ども和知太鼓教室の開催支援</p> <p>④ 社寺等文化資料保全補助事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・白山神社本殿覆屋修繕（升谷）</li> <li>・肘折地藏堂屋修復（仏主）</li> <li>・龍福寺本堂屋根修繕（小畑）</li> <li>・天満神社本殿大屋根修繕（新水戸）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文化財防火査察の実施によって防火意識が向上した。</li> <li>○ 子ども和知太鼓教室は京のまなび教室推進事業に位置づけて実施した。</li> <li>○ 京都府の文化財補助事業に併せて、町として支援を行い、文化財の一層の保全が推進できた。</li> </ul>	A

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩山神社本殿覆屋修繕（塩田谷）</li> <li>・千手寺壁面修繕（妙楽寺）</li> <li>・春日神社本殿覆屋修繕（鎌谷中）</li> <li>・地蔵寺宝篋印塔保護施設設置（猪鼻）</li> </ul> <p>⑤ 文化財保護普及啓発事業 町内に所在する文化遺産を切り絵で表現し、文化財に対する理解や関心を高めることで保存・継承し、町の魅力を情報発信していくため、「京丹波町の文化遺産100選」の制作を3年計画でスタートさせた。平成29年度は、建造物6点、伝統行事13点、伝統芸能2点、自然6点、美術工芸品4点、人物1点の併せて32点を制作。</p> <p>⑥ 歴史調査資料事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分布調査 遺跡分布調査により既存の遺跡地図見直しのため、遺跡の現状確認及び新遺跡等の情報収集を行った。</li> <li>・試掘調査 新庁舎予定地の遺跡範囲試掘確認調査を実施した。</li> </ul>	<p>○ 切り絵という独特の技法と世界観で町内の文化財を描き、文化財の保存・継承に向けて理解を高め、合わせて情報発信していくという斬新な取り組みが注目を集めた。</p> <p>○ 平成24年度発掘調査の報告書を刊行した。</p>	
--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

### 3 青少年健全育成

項目	事業内容・実績・対象者	成果・課題等	評価
<p>(1) 育成事業の推進・団体活動支援</p> <p>学校・家庭・地域社会・社会教育団体が連携して、豊かな感性や相互理解を大切にする心を育てるための社会参加活動、体験活動・</p>	<p>① 青少年育成事業 京丹波町青少年育成協会活動への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総会（6/22） 21人</li> <li>・「青少年の非行・被害防止全国強調月間」街頭啓発（7/15）</li> <li>・「子育て講演会」（7/15）</li> </ul> <p>場所／山村開発センターみずほ 81人</p>	<p>○ 事業を通じて青少年と地域住民とのふれあいや、親子の語らいの場と子育てに係る共通の相談場所の提供ができた。</p> <p>○ 地域住民に対し、「地域の子どもは地域で育てる」という青少年を見守ることの大切さを啓発できた。</p>	A

<p>交流活動の推進を行い家庭や地域の教育力の向上と青少年の健全育成に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京たんば花火大会パトロール (8/5)</li> <li>・みずほ夕涼み大会パトロール (8/11)</li> <li>・わちふるさと祭りパトロール (8/26)</li> <li>・「子ども・若者育成支援強調月間」街頭啓発(11/19)</li> <li>・クリスマス映画会 (12/17) 場所／山村開発センターみずほ 254人</li> </ul> <p>② 子ども合唱団活動事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動回数 34回 団員数 13人、指導者 2人</li> <li>・定期練習 月3回</li> <li>・自然公園さくらんぼまつり、成人式での発表</li> <li>・研修 園部高校・附属中学校合唱部定期演奏会鑑賞</li> <li>・交流会（お楽しみ会開催）</li> </ul> <p>③ 京丹波町成人式開催事業 (1/7)</p> <p>対象者数 194人 参加者数 150人</p> <p>1部 式典、記念撮影、アトラクション 2部 新成人のつどい 寄せ書き、20歳のインタビュー、ふるさと産品抽選会、ふるさと巡りクーポン20</p>	<p>○ 3地区の夏祭りのパトロールを行い、各地区の子どもたちが夜遅くまで徘徊していないか様子を確認することができた。</p> <p>○ 音楽を通じた子どもの情操教育を主眼とし、子どもの発達状況に合わせ、個性を伸ばす指導と仲間と一緒に表現するなかで、集団としての行動も培うことができた。また、成人式等において発表することにより世代間等交流が図れ、子供のやる気につながった。</p> <p>○ 成人式参加者が自主的・主体的に取り組むため実行委員会形式とした。1部では式典とし、2部では新成人のつどいを行い実行委員会が企画、進行をおこなった。実行委員会形式をとることで、主体性と自主性を促し、新成人の誓いの場としてより効果的な催しとなった。</p>	
<p>(2) 放課後児童対策の充実</p> <p>地域社会の中で、放課後や週末等に子どもたちが安心して、健や</p>	<p>① 放課後児童クラブの実施 町内3箇所で開催（支援員は毎日2人以上で対応） 開設日数 延239日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・のびのび児童クラブ1組（丹波） 登録児童数（年度末）52人</li> </ul>	<p>○ 集団生活の中で健全な育成が図れた。</p> <p>● 意欲的な支援員の活動により運営できているが、体制面、施設面（老朽化）で課題を抱</p>	<p>B</p>



<p>かに育まれるよう、児童クラブ等の充実を図るとともに、地域の方々の参画を得ながら、学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などの取り組みを実施する。</p>	<p>支援員 5人(通常は3名で対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・のびのび児童クラブ 2組(瑞穂) 登録児童数(年度末) 41人 支援員 5人(通常は3名で対応)</li> <li>・のびのび児童クラブ 3組(和知) 登録児童数(年度末) 25人 支援員 8人(通常は2~3名で対応)</li> </ul> <p>② 京のまなび教室推進事業 全町4教室開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあいサタデークラブ 手作り教室(アイロンビーズ、ブロック遊び、ボードゲーム、風鈴作り、折り紙、クリスマスリース、鬼面作り等) 土曜日 中央公民館 32回開催 参加者数 延101人</li> <li>・総合型地域スポーツクラブ ソフトバレーボール、野球、バドミントン、卓球、バスケットボール 土曜日 瑞穂小学校ほか</li> <li>・子ども合唱団 さくらまつり(4月)、成人式(1月)等で発表 土曜日 中央公民館</li> <li>・子ども和知太鼓教室 土曜日 和知小学校</li> </ul>	<p>えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全学年を対象とした運営ができた。</li> <li>○ 利用が増加する夏休み中に支援員を増員することにより、受け入れ体制を強化できた。</li> <li>○ のびのび児童クラブ1組について、夏休みの一部期間を丹波ひかり小図書室で開設し、児童のプール利用時の負担が軽減した。</li> <li>○ 新たに子ども合唱団、子ども和知太鼓教室を京のまなび教室に位置づけ、主に土曜日に、子どもたちが継続してスポーツや文化活動など様々な体験を行える居場所を全町で確保した。安心して子どもが参加できる機会として、地域の特色を活かした活動が展開できた。</li> <li>○ 通年の取組みにより定着してきている。常連となっている方を優遇するような閉鎖的姿勢でなく、子どもの居場所づくりを進め、その日の子どもの状態にあわせ、遊び学ぶ自然な運営を心がけている。</li> </ul>	
<p>(3) 学校支援対策の推進 未来を担う子供たち</p>	<p>① 学校支援地域本部事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和知小学校部会 対象学区 和知小学校 運営委員会 5回開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新たに丹波ひかり小学校部会、竹野小学校部会を立ち上げ、町内全ての小学校で地域学校協働活動に取り組んだ。</li> </ul>	<p>A</p>

<p>を健やかに育むため、学校・家庭及び地域住民が、地域全体で子供たちを育むため学校や子供たちを支援する。</p>	<p>活動内容 星の観察、田植え・稲刈り、花壇整備、読み聞かせ、親子学習会、和知人形浄瑠璃、和知太鼓、金管バンドほか</p> <p>年間活動日数 61日</p> <p>・瑞穂小学校部会 対象学区 瑞穂小学校 運営委員会 3回開催 活動内容 朝のお話し会、田植え体験、特産物学習、古い道具と昔の暮らし、室町文化・茶道体験文化・茶道体験</p> <p>年間活動日数 41日</p> <p>・下山小学校部会 対象学区 下山小学校 運営委員会 7回開催 活動内容 ふるさと学習、環境整備、登下校見守り</p> <p>年間活動日数 70日</p> <p>・丹波ひかり小学校部会 対象学区 丹波ひかり小学校 運営委員会 4回開催 活動内容 米・黒大豆栽培、ふるさと学習、環境整備、登下校見守り</p> <p>年間活動内容 175日</p> <p>・竹野小学校部会 対象学区 竹野小学校 運営委員会 4回開催 活動内容 環境美化、餅つき・しめ縄づくり体験、読み聞かせ</p> <p>年間活動日数 61日</p>	<p>○ 地域ボランティアの支援を受けて学習の内容の広がりや深みのある学習ができるようになった。</p> <p>○ 学校と地域の結びつきが強くなった。学校の地域貢献、地域の学校貢献という両面の中で、豊かな人間関係作りが構築されてきた。</p>	
-----------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

4 競技・生涯スポーツ

項 目	事業内容・実績・対象者	成果・課題等	評価
<p>(1) スポーツ・レクリエーション活動の推進</p> <p>健康で豊かな生活を育むため、年齢や体力、目的に応じていつでも、どこでも主体的にスポーツに親しむ生涯スポーツの推進に努める。</p> <p>また、関係機関、総合型地域スポーツクラブを含む各種団体と連携を図りながら積極的にスポーツ活動を推進するとともに、指導者の養成や団体の自主的な活動を支援・促進する。</p>	<p>① 大会・教室の開催            体育協会連携事業  <u>地域対抗スポーツ交流大会</u>            グラウンド・ゴルフ大会            (6/18) 228人            ボウリング大会            (8/18) 72人            ソフトボール大会            (8/27) 105人            ソフトバレーボール大会            (9/17) 台風により中止            ゲートボール大会            (10/29) 台風により中止            駅伝競走大会            (12/10) 272人            卓球大会            (1/21) 95人  <u>種目別スポーツ交流大会</u>            ホッケーフェスティバル            (4/29, 30) 668人            軟式野球大会            (5/14) 70人            ゴルフ大会            (7/17) 70人            弓道教室〔10回〕            (7月～9月) 延べ60人            パークゴルフ大会            (11/26) 60人  <u>生涯スポーツ事業</u>            生涯スポーツ指導者研修会            (11/23) 23人            ホッケー教室〔25回〕            (5月～2月) 延べ345人</p> <p>② スポーツ推進委員会活動事業            ルネィックウォーキング教室            (5/21, 11/23) 56人            いきいきシルバーオリンピック            (9/30) 39人</p>	<p>○ 京丹波町体育協会をはじめ各関係機関との連携を密にして、町競技として位置づけられているホッケー・カヌーも取り入れながら、子どもから高齢者まで生涯スポーツの振興を積極的に進めることができた。</p> <p>● 地域対抗スポーツ交流大会への参加地域が偏っている。</p> <p>○ 各地区体育委員によって、企画された地域行事など開催されており、委員に積極的に活動いただいている。</p> <p>● 実施時期や実施内容の再点検を行い、実施内容の一層の充実を図る。</p> <p>○ 各教室で活躍いただいでい</p>	<p>B</p>

	<p>初級スキー体験教室 (1/27) 参加者 50 人 スタッフ 16 人 府協議会・南丹協議会事業の 実施。カヌー教室における指導。</p> <p>③ 海洋センター活動事業 カヌー教室〔4回(内1回中止)〕 (7/16~8/20) 延べ 88 人</p> <p>④ 京丹波町スポーツ賞表彰式典 町民スポーツの広がりを周知す ることにより継続的な生涯スポ ーツを推進する。(3/17) (表彰者数 3 団体、5 個人)</p> <p>⑤ 総合型地域スポーツクラブ活動 支援 運動施設使用料減免による会場 の提供を行う。意見交流会の開 催。([ ] は発足年) 京丹波町スポーツクラブ [H25. 4] 会員数 40 人 丹波スポーツクラブ [H19. 2] 会員数 38 人 桧山わいわいクラブ [H15. 6] 会員数 59 人 さんさんクラブ [H15. 11] 活動休止 和知スポーツクラブ [H17. 4] 会員数 17 人 質美スポーツクラブかがやき [H15. 8] 活動休止 梅田げんき村 [H16. 3] 活動休止</p> <p>⑥ 京丹波町スポーツ少年団活動支 援 ・単位団、専門部会活動支援 運動施設使用料減免による会場</p>	<p>るスポーツ推進委員が、指導 者コーディネーターとしてさ らに資質向上いただけるよ う、今後も、参画意識を育み やりがいを持って取り組める 学習会や研修会を継続的に実 施する。</p> <p>○ スポーツ賞の表彰により、 スポーツに対する意欲関心を 高め競技力の向上が図れた。</p> <p>○ 地域の実情や課題克服に向 けた支援ができた。</p> <p>● クラブ活動が困難になり、 活動を休止しているクラブが ある等、今後の取り組みにつ いての検討が必要である。</p> <p>○ 年間を通して、団員拡充、 リーダー育成、指導者育成、 団員指導者研修会等計画的か つ明確な目的で事業を実施す</p>	
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

	<p>提供</p> <p>⑦ 京丹波町スポーツ少年団による 団員指導者対象各種事業の実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダー育成事業・団員拡充団員交流事業：リーダー研修会（「運動遊び」の実技研修会）、団員拡充（団員募集チラシ配布・5月体験入団月間の実施）</li> <li>・指導者育成事業：スポーツ指導者研修（スポーツ指導者による講演会）</li> <li>・団員指導者研修会：ブラインドサッカー日本代表加藤選手による講演会体験会</li> </ul> <p>⑧ 2020 東京オリンピック、2021 ワールドマスターズゲームズに向けた取り組み。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京丹波町ホストタウン構想推進協議会 3/16</li> <li>・スポーツ庁の補助制度の採択を受け、ホッケー合宿の聖地化とスポーツ観光の推進を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>*定例ホッケー教室（ホッケー代表選手等による教室）計8回 延べ450人</li> <li>*ホッケーキャンプ（台風のため中止 9/16～18）参加予定人数99人</li> <li>*熱気球係留フライト体験教室 10/14 218人</li> <li>*トップアスリート（カヌー日本代表吉田拓選手）による講演会 3/11、85人</li> <li>*スポーツコミッション視察 3/13.14 十日町市、前橋市</li> </ul> </li> </ul>	<p>ることができた。団員指導者とともに学びの多い充実した事業が実施できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● スポーツ少年団への参加意義がより広く理解される中で、スポーツへの関心や参加意欲を高められるよう各事業内容の一層の充実を図る。常に時代の先を行き、変化に対応できる研修内容が実施できるようにする。</li> <li>○ 事業を推進するため、競技団体、商工会、観光協会、国際交流協会、施設管理者で協議会を構成しており、役割分担の中で事業を推進している。</li> <li>○ ホッケー教室を定期的に開催し、広く町外に対して参加を呼びかけ、ホッケー合宿の聖地としてアピールできた。</li> </ul>	
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京都府スポーツ観光聖地づくり事業の採択を受け、初心者向けのホッケー大会の実施と合わせて、ビデオタワーの設置、トイレ改修を行った。</li> <li>＊ホッケースイーツフェスティバル 3/3 12チーム85名参加</li> <li>・京都トレーニングセンターとの連携事業</li> <li>＊成人を対象とした健康・体力づくり検証プロジェクト事業（体力測定、栄養講座、メンタル講習、コンディショニング講習、測定会）5講座、3期、合計30人</li> <li>＊ジュニアアスリート育成プロジェクト（測定会、スポーツ栄養・保護者向け栄養講座、メンタル講習、トレーニング講習）10講座 9人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ホッケー合宿の聖地化を図るため受け皿となる施設の改修を順次行うことができた。</li> <li>○ 成人の講座では、受講者の健康及び体力に対する意識の変化により、運動能力や運動機能の改善が見られた。</li> <li>○ ジュニアの講座では、効果的なサポートを受けることで、自分の身体の特徴を客観的に知ることで、自分に必要な体力づくりが自覚できた。</li> </ul>	
<p>(2) スポーツ施設の活用と整備</p> <p>社会体育施設の維持管理を行うとともに学校施設のグラウンド・体育館の一般開放を進め、町民が利用しやすい施設として充実させる。</p>	<p>社会体育施設の維持管理と利用促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会体育施設〔15施設（プール6、グラウンド4、体育館等5）〕 使用回数 延べ633回 使用者数 延べ11,802人</li> <li>・修繕件数 35件 参考 28年度 27件 27年度 25件 26年度 17件</li> <li>・和知B&amp;G海洋センター〔2施設（プール・艇庫）〕 使用回数 延べ176回 使用者数 延べ2,238人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 突発的な修繕にも対応することで、利用者の安全を確保し、使いやすい環境整備が図れた。</li> <li>● 各社会体育施設とも老朽化が進み、修繕が必要な箇所が増加し、突発的な故障も多発している。プール施設においては、利用者数の状況等を考慮した上で、今後の維持管理・運営方法について検討が必要である。</li> <li>● カヌー利用の問合せをいただいたが、悪天候により、中止となるケースが多々あった。</li> </ul>	B

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・瑞穂B &amp; G海洋センター（指定管理）〔3施設（プール・武道場・体育館）〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>使用回数 延べ754回</li> <li>使用者数 延べ7,133人</li> </ul> </li>   <li>・学校施設〔18施設（グラウンド8、体育館等10）〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>使用回数 延べ1,131回</li> <li>使用者数 延べ18,580人</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 昨年度、森の京都事業において、雑誌掲載をされ、カヌー事業に対する注目が集まったが、それを次年度に生かすことが出来ず、一過性のものとなってしまった。</li> </ul>	
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

## 8 平成29年度の教育委員会会議・教育委員活動の総括

### (1) 教育委員会会議について

教育委員会の機能強化や町教育行政の活性化を目指し、定例会等において、5名の教育委員それぞれが持つ専門性、かつ住民・保護者の視点で、本町教育における課題や国・府の教育に関わる動向について、活発な意見交換を行った。

総合教育会議においては、本町教育の現状と課題、施策について積極的な意見交換を行い、本町が目指す教育の方向性について議論を行った。

今後もあらゆる機会をとらえて積極的な検討、議論を行い、より良い教育環境の整備、人材育成に取り組む。

### (2) 教育委員研修について

教育委員の研修については、京都府及び南丹地区教育委員連絡協議会主催の研修、近畿地区研修会等に積極的に参加し、国・府の教育施策についての理解を深めるとともに、他市町村の先進事例について学び情報交換を行うなど、教育委員としての資質の向上に努めた。

今後も、定例会等の会議や学校訪問を通じて顕在化した問題点を認識した上で、各種研修会への参加や研究協議の実施に取り組む。

### (3) 学校等の実態把握について

委員全員による学校訪問等により、教育活動の参観や学校と意見交換を行う中で、近年の社会経済情勢の変化や保護者の価値観の多様化が、幼児・児童生徒の実態に影響を与えている現状を把握し、より良い教育行政を推進するために、各学校・幼稚園との連携を強化した。

また、全国的な問題となっているいじめ、体罰、通学時の安全対策、及び学校・幼稚園休業中の安全対策についても、本町の状況について把握を行うとともに、各学校長・幼稚園長と連携を図りながら、的確な判断と迅速な対応により、幼児・児童生徒の安全確保に努めた。

### (4) 社会教育の推進について

教育委員会定例会において、社会教育課からの事業報告により、社会教育事業の成果や課題について把握を行った。各種社会教育団体に委員として参加し、積極的に活動を行った。

今後は、社会教育事業について社会教育委員と意見交換を行いながら、子どもから高齢者までが生涯学習を通して地域への誇りを感じる事業の推進に取り組む。